

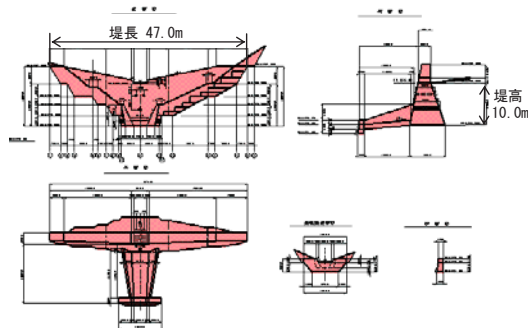
■効果の見える治水事業

香川県 坂口川(観音寺市大野原町)の砂防事業 『坂口川 通常砂防工事』

にしかわ ひでき
香川県西讃土木事務所長 西川 英吉



事業箇所	観音寺市大野原町
事業期間	平成21年度～平成23年度
全体事業費	114百万円
事業計画	砂防堰堤1基
	堤高 10.0m
	堤長 47.0m
	堤体積 1,466m ³
貯砂量	3,370m ³
流域面積	0.09km ²



本溪流は、二級河川柞田川に流れ込む流域面積0.09km²、平均渓床勾配1/4.0の土石流危険溪流であり、下流には人家4戸、耕地1.6haに加え、主要避難路である県道が存在しています。

当流域では、平成16年9月に発生した台風21号の影響で山腹崩壊、溪岸浸食が発生したほか、流域内に不安定土砂が堆積しており、今後の降雨により更なる土石流災害の恐れがありました。

このような状況に鑑み、土砂災害の発生を未然に防止し、住民の方々の生命、財産を守るための砂防堰堤建設を計画しました。

当事業は、平成21年度に事業着手し、地元住民の皆様のご協力のもと、平成23年度に完成しました。



着工前(平成23年4月)



竣工後(平成24年5月)

「災害に強いまちづくり」

しらかわ せいじ
観音寺市長 白川 晴司



観音寺市は、香川県の南西部に位置し、北東部は三豊市、西部は瀬戸内海の燧灘に面し、沖合には伊吹島等の島しょを有しており、南部は讃岐山脈の雲辺寺山、金見山を境に徳島県三好市及び愛媛県四国中央市に接している。

市の中央部には三豊平野が広がり、東部から西部に向かって財田川、柞田川等の河川が貫流し、豊かな田園地帯を形成している。また、河口付近は、市の中核となる市街地が形成されている。東部から南部にかけては山間地が、北部には七宝山等の丘陵地が連なっている。

気候は、「瀬戸内海気候区」に属し、比較的温暖で年間を通じて降水量は少なく日照時間数が多い気候特性から、ため池が多数点在し、観音寺市の地勢の大きな特色となっている。

中でも大野原町田野々地区の、昭和4年に完成した「豊稔池」は農業土木施設として史上価値が高く、国の重要文化財に指定されており、現在でも500haの水田の水がめとして重要な施設で、市の観光資源ともなっている。特に夏に行われるユル抜き(放流)風景は季節の風物詩となっている。

しかし、この温暖少雨の地域においても、近年の気候変動により短時間に過去経験の無い程の集中豪雨が発生し、この田野々地区も、平成16年には台風15号をはじめ、度重なる集中豪雨により、農地を中心に宅地も多数被災したところである。この坂口川は「豊稔池」の上流部に位置し被災した地域で、この「坂口川通常砂防事業」により地域の安全性が確保されるものと期待されている。

また、市内を流れる財田川、柞田川等が重要水防河川に指定されており、河口近くでは平成16年の台風豪雨による河川からの越水、高潮による浸水等の被害も発生しており、今後は地域の特性を考慮した防災対策を推進するとともに、施設整備等のハード面での防災対策に加え、地域住民の自主防災活動、災害時の避難路・輸送路や避難場所の体系化等、ソフト面での防災対策も含め、災害に強いまちづくりを進めることが必要である。



愛媛県境付近からの観音寺市全景



重要文化財「豊稔池」のユル抜き風景